

■利用時間 午前9時30分～午後7時
 ■定例休館日 毎週月曜日〔祝日の場合は翌日〕
 図書整理日〔月末日（土・日・月曜日の場合は翌日）〕



新着コーナー

◇一般書◇

『花鳥の夢』

山本兼一 著／文藝春秋
 狩野派の中でも特別な才に恵まれ、信長や秀吉にもその絵を求められた永徳。絵を描く「業」に取りつかれた永徳が辿り着いた境地とは。絵を描くことの苦しみと喜びとは何か。稀代の絵師の生涯を描く傑作長編。

『東京ホテル』

中村航ほか 著／ポプラ社
 川が青く光る夜、やさしい奇跡が起こる。学生時代の恋人と再会した夜に、音信不通だった母と出会った日に、それぞれの想いが響きあう…。隅田川のイベント「東京ホテル」に絡め、5人の作家が描く作品集。

『シャーロックホームズ絹の家』

アンソニー・ホロヴィッツ 著、
 駒月雅子 訳／角川書店
 ロンドンの美術商がアメリカで事件に巻き込まれた。からもイギリスに戻るが、不審な男の影が忍び寄る。相談を受けたホームズは…。ドイル財団が公認した、80年ぶりのホームズ長編。

『泡沫日記』

酒井順子 著／集英社

『快拳』

白石一文 著／新潮社

『落日のコンドル』

霞流一 著／早川書房

『よだかの片思い』

島本理生 著／集英社

『スノーケリングテクニックガイド』

長谷川孝一 著、小川保 写真／誠文堂新光社

『なぜタクシーは動がなくてもメーターが上がるのか』

竹内健蔵 著／NTT出版

『古文書くずし字見わけかたの極意』

油井宏子 著／柏書房

◇児童書◇

『この羽だれの羽？』

おおたぐろまり 作・絵
 ／偕成社
 身近に落ちている羽が、何の鳥の羽なのかを実物大のイラストで紹介する絵本図鑑。鳥の羽にまつわるさまざまな話題も満載

『まゆとうりんこ』

降矢なな 絵、富安陽子 文／福音館書店
 ある日まゆは、林の中で迷子になったうりんこ（いのししの子ども）に出会いました。うりんこのお母さんがわりになってあげようと、ごはんを食べさせたり、子守唄を歌ってあげたりしますが…。

『でんしゃにのったよ』

岡本雄司 さく／福音館書店
 男の子が、おかあさんといっしょにローカル線や新幹線を乗り継いで、東京のいとこの家に遊びにいけます。鉄橋をわたり、貨物列車とすれ違い…。親子でたっぷり電車の旅を楽しめます。

『美術館にもぐりこめ！』

さげさかのりこ 絵、さがらあつこ 文／福音館書店

『からすのおかしやさん』

かこさとし 作・絵／偕成社

『グーテンベルクの不思議な機械』

ジェイムズ・ランフォード 作、千葉茂樹 訳
 ／あすなる書房

おはなしの会

日時 毎週土曜日
 6月1・15・22日(土) 午後2時～
 8日(土) 午前10時30分～
 場所 図書館内・おはなし室

展示コーナー

一般テーマ『知っておきたい「天気」「気象」』

天気を通して自然の恵みや脅威を知ることができるよう「風」「雨」「雲」「雷」「台風」…について知識を深めてみませんか。

児童テーマ『雨』

雨の季節がやってきました。雨ふりには晴れたときがない楽しさがあります。雨の日ならではのウキウキ・ワクワクを見つけてみましょう。